福島民報　17.4.12　警察官殉職

殉職警官の功績後世に　避難誘導中に津波被害　富岡で碑除幕

　東日本大震災発生時、住民の避難誘導中に津波で殉職した双葉署員３人の功績を伝える顕彰碑の除幕式は１１日、富岡町の同署本庁舎前で行われた。
　殉職したのは増子洋一警視＝当時（４１）＝、古張文夫警部＝同（５３）＝、佐藤雄太警部補＝同（２４）＝（いずれも二階級特進）。
　遺族や警察関係者ら約７０人が出席した。菅野紀之署長が「３人の崇高な警察魂を語り継ぎ、双葉を守るという強い決意で職務にまい進する」とあいさつした。菅野署長と渋佐克之県公安委員長、松本裕之県警本部長、梅宮勇治県警友会長、松本幸英楢葉町長、水島進富岡地区安全運転管理者協会長、増子警視の父正美さん、古張警部の兄金一さんが除幕した。出席者が献花し、冥福を祈った。
　顕彰碑は高さ１．５メートル、横幅１．３メートル。署員から公募した「その崇高な志　永遠に」の言葉とサクラの模様を刻んでいる。